



生活習慣を改善することで 心も身体も健康に



湖南市公明党議員団 ● 細川 ゆかり 議員

がん予防対策について

問 質の悪い睡眠は、生活習慣病の罹患リスクを高め症状を悪化させることから健康教育の中に「眠育」も必要では。

答 健康こなん21計画において目標設定し、睡眠の重要性の理解が進むよう取り組みます。

問 HPVワクチンは、子宮頸がん以外にも陰茎がんや性感染症予防などにも有効で海外では男女とも公費で接種しています。男性へのHPV接種の考えと接種費用の助成について

答 男性の性感染症やがん予防の観点で男性へのHPVワクチン接種も効果的ですが、日本では令和2年12月に4価のみ9歳以上の男性への接種を認可。定期接種でないため、市は助成を検討していません。国に対し定期接種化を要望します。

障がいのある方や支援の必要な方が希望する投票支援を記入できる「投票支援カード」と「コミュニケーションボード」導入について

答 二つとも投票しやすい環境の整備と円滑な投票事務に資するものであると考え、導入を検討してまいります。



「COCOLON」について

問 スペシャルサポートルームの設定状況は。

答 登校はできても教室に入りにくい児童生徒のために石部小と菩提寺北小以外の学校では、自分に合ったペースで学習・生活できる教室を設置。専用の部屋のない学校においても個別に対応をして教室への橋渡しをしています。



コミュニティバス子ども無料!!



会派 きずな ● 森 すなお 議員

問 湖南市コミュニティバス

の運行費補助金8千万円の活用策として、無料乗車券の要件範囲の拡大は。

答 子どもたちの市内移動や部活動の交流試合など、他校への移動手段に公共交通を無料で利用できることで、子育て世代への負担軽減を図ります。

問 対象者や条件は。

答 子育て世代の移住を期待して、市内外在住を問わず、中学生以下の子ども全てを対象とし、小学生以下はフリーで、中学生は生徒手帳や学生カードでの確認を予定しています。

問 妊産婦、まちづくり協議会や区・自治会の地域間交流、民生委員さんの活動支援、免許証を返納された方の移動支援への対応は。

答 今後の支援策は、路線形態の再構築後の

利用状況を確認して、各関係課、各種関係団体と調整し検討します。

問 ごみステーションに補助金制度導入を!

答 補助金制度適用は、市の負担を明確にするために、補助金にすることは大変有効です。行政自治交付金の見直しも検討します。

問 自治会未加入者を含む利用者の経費や作業負担の標準的ルールを示すべきでは。

答 地域代表者会議で意見を聞いてごみ収集のモデルケースを作成し、広報紙やごみカレンダー等で周知します。

問 水戸診療所のコロナワクチン接種

答 春は週6人だった水戸診療所の秋のワクチン接種の予定は、10月から週48人分の接種枠を確保しています。